

2019年5月25日(土) 朝刊掲載

大聖寺の親水公園 加賀白山RCが整備

大聖寺の親水公園 加賀白山RCが整備
 クト委員会は二十三日、加賀市大聖寺地方町の古九谷の杜親水公園で、アゲハチョウの一種「ジャコウアゲハ」の育成に向け、環境整備に取り組んだ。

ジャコウアゲハは光沢のある黒い羽を持ち、腹部の赤い模様も特徴的な希少種。同RCは、同親水公園をジャコウアゲハが舞う公園にしようと、一〇一二年から幼虫の餌となるウマノスズクサを公園の一角に植え、定期的に手入れしている。

いくつかの葉の裏側にジャコウアゲハの黒い幼虫があり、メンバーによると、既に成虫がさなぎから羽化して、近くを舞っているという。この日は十人が参加し、雑草を取り除いてきれいにした。

委員長の土山俊明さん(七五)は「成虫は蜜を吸うので花も植えている。幼虫やさなぎの観察にも最適です」と話していた。

(小室亜希子)

ジャコウアゲハは光沢のある黒い羽を持ち、腹部の赤い模様も特徴的な希少種。同RCは、同親水公園をジャコウアゲハが舞う公園にしようと、一〇一二年から幼虫の餌となるウマノスズクサを公園の一角に植え、定期的に手入れしている。

ウマノスズクサ周辺の雑草を取り除くメンバーら=加賀市大聖寺地方町で



ジャコウアゲハ舞う場に